



公立高校とは初！「正解のない問い」に挑む 新しい未来の学び方、始まる

大分県立別府鶴見丘高等学校・立命館アジア太平洋大学

高大連携協定書 締結調印式 記念イベント同日開催

【日にち】 2020年2月10日（月） 【場所】 大分県立別府鶴見丘高等学校 鶴嶺会館
【時間】 13:30～14:00 調印 14:30～16:20 記念イベント

立命館アジア太平洋大学（APU、所在：大分県別府市 学長：出口治明）は、大分県立別府鶴見丘高校（所在：大分県別府市 校長：姫野秀樹）と先進的な学びのモデルケース「探究的な学び」を軸に据えた高大接続※1を目指して、高大連携協定を締結します。APUが結んだ高大連携を中心にした協定において、公立高校との調印は、今回が初めてです。

予測困難な時代の到来を受けて、今後若者に求められる資質・能力は、与えられた課題に対応するだけでなく、自ら「問い」を立て、頭で考え、解決策を見出していき、「探究的な学び」方であると言われていいます。APUは、地元別府市の高校とタッグを組み、若者の学びや教育をここから変えていくことを目指します。取組みは、両者で協議しながら、2020年秋以降に随時開始する予定です。

協定調印を記念して、同日ロジカル・フラワー・チャートを使った「鶴見丘×APU 探究的な学び特別授業」を実施します。ロジカル・フラワー・チャートとは、APUが2021年入学者向けのAO入試でも利用することが決まっております。他者の議論を分析したり、自らの議論を組み立てたりするためのツールで、それを使って「自分の頭で考える」とはどのようなことかをAPUの学生と、高校生と一緒に考えていきます。この特別授業では、立命館大学とAPUの教員計3名が学生たちの学びをサポートします。

アクティブ・ラーニングや自律的な学びを推し進め、高校教育現場と協働しながら、高校生の思考力の底上げを図るAPUの新たな取組みと今後の動きにぜひご注目ください。

【調印式】

- (1) 日時 2020年2月10日（月） 13:30～14:00（予定）
- (2) 場所 大分県立別府鶴見丘高等学校 鶴嶺会館
- (3) 出席者 立命館アジア太平洋大学 学長 出口 治明
大分県立別府鶴見丘高校 校長 姫野 秀樹

【式次第】

- ・高大連携協定書への署名・押印
- ・協定書 交換
- ・写真撮影
- ・挨拶（姫野秀樹校長、出口治明学長）
- ・報道関係者向け質疑応答

【連携内容】

- (1) APU教員による別府鶴見丘高校の生徒を対象とした講義等の実施（2020年秋頃予定）
- (2) APUの教員と学生による別府鶴見丘高校の生徒とのワークショップ開催
- (3) APU国際学生（留学生）と別府鶴見丘高校の高校生との交流企画実施（2020年秋頃予定）
- (4) APU教員と別府鶴見丘高校教員の相互交流

※1高大接続：

2015年1月に文部科学省より実行プランが打ち出された、高校・大学入試・大学の3つが一体となった「高大接続改革」のことを指す。予見の困難な時代において必要とされる、新たな価値を創造していく力を育むには、「学力の3要素（1.知識・技能、2.思考力・判断力・表現力、3.主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）」をバランスよく育成・評価することが急務となっている。高校教育で育成し、大学教育でさらなる伸長を図っていくため、高校と大学をつなぐ大学入学者選抜試験でも多面的・総合的に評価を行っていく取り組み。



協定締結記念イベント 「正解のない問い」に挑む 新しい学び方がここから始まる 「鶴見丘×APU 探究的な学び特別授業」

【記念イベント】 鶴見丘×APU 探究的な学び特別授業

- (1) 日時 2020年2月10日(月) 14:30~16:20
- (2) 場所 大分県立別府鶴見丘高等学校 鶴嶺会館
- (3) 概要 ピア・ラーニング(協働学習)法を用いて、APUの在學生と高校生が協働し「探究的な学び」とはどのようなものなのかを考え、「正解のない問い」に挑む、将来必要とされる力を養い、育てる「未来の学び」「未来の教室」を体験する授業。
- (4) 参加者 鶴見丘高校の現1年生40名と、大学生約10名(APU在籍でティーチングアシスタント経験を有する学生)

【テーマ】「探究的な学び」に挑む

【特別授業スケジュール】

●オープニング

- 1.担当教員の自己紹介
薄井 道正教授(立命館大)、秦 喜美恵教授(APU)、佐藤 浩人准教授(APU)
- 2.APUの在學生 自己紹介
- 3.高校生5人+大学生1人以上のグループを8グループつくる
- 4.本特別授業の趣旨とロジカル・フラワー・チャート(探究のツール)の概略について説明する

●アイスブレイキング(協働学習にとりくむための人間関係づくり)

●「探究的な学び」の協働学習

- 1.VTS(Visual Thinking Strategies=アートを通じて鑑賞者・学習者の「観察力」「批判的思考力」「コミュニケーション力」を育成する教育カリキュラム・教育プログラム)方式を用いて、視覚資料を探究的・発見的に読みとく協働学習をおこなう
- 2.提示された課題について、グループのメンバー全員が協働して「問題」を見つけ、その解決(最適解の追究)に挑む

●エンディング(まとめ)

本日の体験を踏まえて、「探究的な学び」についてミニ・レクチャーをおこなう
(参考資料)

オリジナル・テキスト『「探究」と「議論(論述)」の技法—Fチャートを活用するために—【ハンドブック】付:初歩からの論理的思考レッスン』 ※当日配布 ご取材される皆様にもお渡します。